

教えてセンパイ!

県内? 県外? 悩ましい志望校選択

- 工藤:** なぜ県内の大学に進学したんですか?
- 佐藤:** ひとつは、生まれ育った弘前に国立大学があったこと。そして希望に沿った学部があったことです。海外に興味があり、言語や文化を学べる大学を探していたんです。
- 工藤:** 県外の選択肢はなかったんですか?
- 佐藤:** 実は県外に行きたい気持ちもあったんですけど、弘前大学で好きなことができそうだったから。
- 工藤:** 住み慣れている土地を離れるにも勇気がいられますよね。地元には安心感があるし。
- 佐藤:** 確かに、イベントやライブが充実している都会への憧れはありましたが、生活する上でそれが

弘前市出身で、弘前の高校から地元の大学へと進学した佐藤さん。同じく弘前市出身の高校生の工藤さんにとって、ちょっと未来の大学生活は気になるところ。でも、今のうちに何かしておくべきことがあるのでは?先輩の佐藤さんに聞きました。

毎日必要かと聞かれたら、そうでもないなって。最近では毎日に必要なのは、居心地の良さだなど思うようになりました。

地域活動でふるさとの良さを実感

- 佐藤:** 今、学生団体の活動に参加していて、県内企業の方々からスキルを学びながら、イベントの企画をしています。地域の人と一緒に何かを作っていく活動が、自分にとってものすごく生き甲斐になっているんです。
- 工藤:** 大学卒業後は、県内と県外、どちらで働きたいですか?



佐藤: もちろん県内です。活動を通して地域には面白い企業、面白い人がいることが分かったので、そういう人たちと関わりながら仕事をしたいと思っています。私はずっと県内で暮らしてきましたが、一方で、一度は青森から出て外の世界を見ておいた方が、より広い視野を得られるという考え方もあるでしょう。

工藤: 別の観点で青森を見る。
佐藤: ずっといて深みを知る、離れて新しい視点を見つけてみる。どちらでもいいと思います。大事なものは、いろんな経験をして、自分は何が好きなのかを見つけて生きること。地元を選んだ私は、青森のいろんなところを見た上で「青森っていいよね!」と言っていきたいです。

悩んだら飛び込んじゃえ!

- 工藤:** 高校時代にやっておけば良かったと思うことはありますか?
- 佐藤:** 積極的に地域活動に関わることですね。地域のことを深く知ることができますし、「地元には何もない」という考え方がくつがえされます。自分の中にいろんな視点が増えることは大きなプラスですよ。
- 工藤:** 友達から地域活動の話聞いていて、正直大変そうだなと思ってはいたんですが、自分も何かに参加した方がいいのかな。
- 佐藤:** 悩んでいるなら思い切って飛び込んじゃった方がいいと思います。
- 工藤:** そうですね! 今日のお話を参考に、将来の進路をもっと検討してみたいと思います。
- 佐藤:** まずは志望の大学に行けるように!
- 工藤:** はい、がんばります!



弘前大学人文社会科学部3年生

佐藤 萌野さん

子どもたちと一緒に遊ぶサークルで活動する他、学生団体「BeeCome(ビーカム)」にも所属し、若者の県内定着に向けたプログラムを企画。休日は友達とおしゃれなカフェ巡りを楽しむ。



弘前南高等学校2年生

工藤 大和さん

卒業後は県内進学希望。演劇部に所属し趣味は絵を描くこと。弘前生まれの弘前育ちで、青森の四季がハッキリしているところや、のどかな空気が好き。推しは「さくらまつり」。

